

日本光学会平成 24 年度第 197 回幹事会議事録

日 時： 2012 年 9 月 24 日(月) 13:30~16:30

場 所： 応用物理学会 6 階会議室

参加者： 渡辺幹事長, 他 27 名

1. 前回常任幹事会議事録の確認

- ・ 議事録が承認された。

2. 報告事項

2-1. 「光学」関連報告

- ・ 幹事会議事録は従来は奇数月号に掲載してきたが、議事録承認終了後の直近の発行号に変更すると報告された。

2-2. 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・ 特に問題は発生していない旨が報告された。

2-3. 講演会関連報告

(1) 北陸信越支部講演会進捗報告

- ・ 謝金の支払いについて了承された。

(2) 冬期講習会進捗報告

- ・ 開催要目が決定したと報告された。

(3) OPJ 進捗報告

- ・ 投稿数やプログラム, OPJ-BP 賞の選考委員などが報告された。

(4) 光学シンポジウム開催報告

- ・ 開催結果が報告された。

(5) 名古屋支部講演会進捗報告

- ・ 12 月上旬の開催を検討している旨が報告された。

2-4. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

- ・ 8 件の協賛依頼が報告された。

(2) 会員動静について

- ・ 動静が報告された。

(3) 収支計算書について

- ・ 現時点での収支が報告された。

(4) 日本光学会ホームページについて

- ・ ページ別訪問数が報告された。

(5) 日本光学会奨励賞報告

- ・ 授与式と受賞記念講演の計画が報告された。

(6) 光みらい奨励金進捗報告

- ・ 審査委員について報告された。

(7) 光学論文賞について

- ・ 選考の進捗が報告された。

(8) 平成 25 年度幹事の幹事会推薦について

- ・ 候補者が報告された。

(9) 応用物理学会講演会分科会展示について

- ・ 愛媛大学での出展について報告された。

(10) 分科会庶務ミーティング報告

- ・ 2013 年度事業計画・予算案策定について報告された。

(11) 予算について

- ・ 概略の予算案が報告された。

(12) 事業計画について

- ・ 日本光学会の 2013 年度事業計画が報告された。

(13) 「光学」のバックナンバー在庫数について

- ・ 現時点での在庫数が報告された。

3. 審議事項

3-1. HP リニューアルについて

- ・ 外部サーバーのドメイン名として“osj-jsap.jp”が承認された。

3-2. EOS (European Optical Society) との新規 MOU 締結について

- ・ MOU の骨格案が提示され、承認された。

3-3. 規定類の名称などの改定について

- ・ 応用物理学会からの改定依頼が報告された。

- ・ 依頼に基づいて名称を改定することが承認された。

日本光学会平成 24 年度第 2 回常任幹事会

2012 年 11 月 26 日(月) に、応用物理学会会議室(湯島)において開催されました。第 197 回幹事会議事録の確認、「光学」関連報告、「OPTICAL REVIEW」関連報告、名古屋講演会進捗報告、関西講演会進捗報告、中国四国支部合同学術講演会の共催に関する報告がなされました。また、協賛依頼について、収支計算書、日本光学会ホームページ、第 38 回シンポジウム、光学論文賞、OPJ-BP 賞、光みらい奨励金、国際協力支援金、平成 25 年度幹事選挙実施経過について報告および審議がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は「光学」第 42 巻第 4 号に掲載予定です。

平成 25 年度幹事選挙結果報告

平成 25 年度の選挙の開票結果について報告いたします。

開票日： 2012 年 12 月 13 日(木) 13:30~

開票者： 渡辺幹事長, 石橋総務幹事, 伊藤総務幹事

幹事会推薦候補者得票数： 148

幹事会推薦以外(記名)： 0

幹事会推薦候補者不信任： 1

白票：4

以上の結果をもって、平成25年度の幹事には幹事会推薦候補者17名が選出されました。

平成24年度日本光学会総会

平成24年度日本光学会総会を下記の通り行いますので、会員の皆様はご出席くださるようお願いいたします。

日時：2013年3月29日(金) 13:00~13:45

場所：2013年第60回応用物理学会春季学術講演会会場 神奈川工科大学(厚木市下荻野1030)。会場番号は応用物理学会誌もしくは応用物理学会ホームページでご確認ください。

平成24年度光学論文賞および選考委員会

平成24年度(第54回)光学論文賞は、早澤紀彦氏(理化学研究所)ならびにDinesh N. Naik氏(Universitat Stuttgart)が受賞されることになりました。受賞対象論文は次のとおりです。

○早澤紀彦氏：

N. Hayazawa, T. Yano and S. Kawata: "Highly reproducible tip-enhanced Raman scattering using an oxidized and metallized silicon cantilever tip as a tool for everyone," J. Raman Spectrosc., **43**, No. 9 (2012) 1177-1182.

○Dinesh N. Naik氏：

D. N. Naik, T. Ezawa, R. K. Singh, Y. Miyamoto and M. Takeda: "Coherence holography by achromatic 3-D field correlation of generic thermal light with an imaging Sagnac shearing interferometer," Opt. Express, **20**, No. 18 (2012) 19658-19669.

平成24年度日本光学会総会にて授賞式を行います。授賞式後、記念講演を予定しております。

日時：2013年3月29日(金) 13:00~13:45

場所：2013年第60回応用物理学会春季学術講演会会場 神奈川工科大学(厚木市下荻野1030)。会場番号は応用物理学会誌もしくは応用物理学会ホームページでご確認ください。

なお、選考委員は下記の通りでした。

委員長：菊田久雄(大阪府立大)

委員：内川恵二(東工大)、尾松孝茂(千葉大)、片山龍一(福岡工大)、小西毅(阪大)、白井智宏(産総研)、杉浦忠男(奈良先端科学技術大)、成瀬誠(NICT)、三尾典克(東大)、宮永滋己(室蘭工大)

平成24年度 Optics & Photonics Japan ベストプレゼンテーション賞

平成24年度 Optics & Photonics Japan ベストプレゼンテーション賞は、選考委員会において慎重に審査した結果、下記の5編が選ばれました。本賞が今後とも、受賞者の方はもちろん、若手の研究奨励に貢献することを期待します。なお、応募講演数は88でした。

受賞者：

○吉田洸平氏(東京農工大学)：「GPU計算ホログラムを使用した自動配列光ピンセット」(共著者：岩井俊昭)

○岸達也氏(大阪大学)：「誘導ラマン散乱顕微鏡用ファイバー光源におけるパルスの高強度化と雑音特性の検討」(共著者：能勢啓輔、小関泰之、兼松泰男、伊東一良)

○佐々木佑太氏(千葉大学)：「高出力ピコ秒光渦レーザーの非線形波長変換」(共著者：宮本克彦、時実悠、尾松孝茂)

○中村友哉氏(大阪大学)：「重複像眼複眼光学系を用いた視野・被写界深度拡大イメージング」(共著者：堀崎遼一、谷田純)

○豊田耕平氏(千葉大学)「全角運動量を有する光渦によるカイラリティナノニードル創成」(共著者：高橋冬都、宮本克彦、森田隆二、尾松孝茂)

選考委員は以下の通りでした。

委員長：渡辺正信(産総研)

委員：伊藤雅英(筑波大)、早崎芳夫(宇都宮大)、菊田久雄(大阪府立大)、齋木敏治(慶應大)、片山龍一(福岡工大)、山本裕紹(徳島大)、相津佳永(室蘭工大)

第127回微小光学研究会「3D空間情報と微小光学」

日時：2013年3月7日(木) 10:00~17:10

場所：東海大学高輪キャンパス4号館2階4201講義室(〒108-8619 東京都港区高輪2-3-23)

主催：日本光学会微小光学研究グループ

プログラム：①【基調講演】「高速ビジュアルフィードバックの世界」石川正俊(東大)、②「光増幅器による車載用レーザーダの小型化」井上大介(豊田中研)、③「長距離・高分解能・リアルタイム3Dレーザーセンサー」今城勝治(三菱電機)、④「ライトフィールドカメラ Lytro の動作原理とアルゴリズム」蚊野浩(京都産業大)、⑤「これまでになくアプリケーションを実現するコンピューショナル・カメ

ラ」小笠原隆行(東芝), ⑥「偏光による形状推定および色の解析」宮崎大輔(広島市立大), ⑦「微小偏光素子アレイを用いた高速度3次元動画画像計測システム」栗辻安浩(京都工繊大), ⑧「CMOS光飛行時間距離画像センサの高分解能化」川人祥二(静岡大), ⑨「ランダムドットパターン投影法によるデプスカメラの動作原理」上田智章(Neo-Tech-Lab), ⑩「波面コード化による被写界深度の拡大」小松進一(早稲田大)

参加費: 一般4,000円, 学生・シニア1,000円, 資料代含む。当日ご持参ください。

参加申込: 不要。直接会場にお越しください。

問合せ先: 東京工業大学精密工学研究所 宮本智之

電話 045-924-5059 Fax 045-924-5059

E-mail: tmiyamot@pi.titech.ac.jp

URL: <http://www.comemoc.com/>

協賛講演会のお知らせ

日本光学会はOSA主催の下記の講演会を協賛しています。当会会員は、登録の際に割引価格が適用されます。詳細はそれぞれのホームページをご覧ください。

① Optics in the Life Sciences Congress

会期: 2013年4月14日(日)~18日(木)

場所: Waikoloa Beach Marriott Resort and Spa,
Waikoloa Beach, Hawaii, USA

詳細: http://www.osa.org/en-us/meetings/optics_and_photonics_congresses/optics_in_the_life_sciences/

② Digital Holography and 3-D Imaging (DH)

会期: 2013年4月21日(日)~25日(木)

場所: The Fairmont Orchid, Kohala Coast, Hawaii, USA

詳細: [http://www.osa.org/en-us/meetings/topical_meetings/digital_holography_and_3-d_imaging_\(dh\)/](http://www.osa.org/en-us/meetings/topical_meetings/digital_holography_and_3-d_imaging_(dh)/)

公募: 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 新分野創成センターイメージングサイエンス研究分野特任研究員

公募人員: 特任研究員1名

応募資格: 博士の学位を有する者, または平成25年3月31日までに博士の学位取得が見込まれる者

研究・業務内容: センターに所属する特任助教との協力のもとに, 画像データ処理のためのソフトウェア開発およびグラフィックスによる生命現象解明のための研究に従事する。また, 本機構のイメージングに関わる研究者との共同研究を実施する。従来の研究分野は問

わない。

採用予定期間: 採用決定後できる限り早い時期から最長5年間(1年度ごとに更新)。契約期間および契約の更新については大学共同利用機関法人自然科学研究機構年俸制職員就業規則による。

給与: 大学共同利用機関法人自然科学研究機構年俸制職員就業規則に基づき支給する。

勤務地: 自然科学研究機構岡崎地区(愛知県岡崎市)

公募締切: 平成25年2月28日(木) 17:00(必着)

選考方法: イメージングサイエンス研究分野特任教員等候補者選考委員会にて調査審議を行い, 新分野創成センター運営委員会が決定する。選考は書類審査により行い, 必要に応じて面接を行うこともある。

提出書類: (1)履歴書: 写真貼付(履歴書の連絡先にE-mailアドレスを記入すること), (2)研究歴: 任意の様式による(2枚以内), (3)採用後の研究計画: 新分野創成センターの目的に沿った研究計画を本機構内の共同研究を視野に入れて記すこと。任意の様式による(3枚以内), (4)業績リスト: 和文と英文は別葉とすること。査読の有無を明記すること。共著の論文については共著者名をすべて記入すること。開発したソフトウェアを提出していただいても構いません(任意の様式による), (5)論文別刷: 主要な論文(学位論文および投稿中または投稿予定を含む)コピー可。(6)推薦書, または, 応募者について参考意見を述べる人がある場合は, その氏名および連絡先を記載した文書。いずれも任意の様式による。((2)~(5)については7部必要)

書類送付先: 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 神谷町セントラルプレイス2階 大学共同利用機関法人自然科学研究機構事務局総務課人事係(封筒の表に「新分野創成センターイメージングサイエンス研究分野特任研究員公募関係書類」と朱書き, 郵送の場合は簡易書留とすること)

問合せ先: (1)研究内容等について: 大学共同利用機関法人自然科学研究機構新分野創成センター事務担当 E-mail: cnsi-jimu@nins.jp (2)給与等について: 大学共同利用機関法人自然科学研究機構事務局総務課人事係 電話 03-5425-2035(直通)

その他: (1)提出された書類は返却しませんのでご了承ください。(2)本人事においては男女共同参画社会基本法の趣旨を尊重します。(3)産前産後・育児・介護のための休暇・休業(育児部分休業, 介護部分休業を含む)の取得, または業務上もしくは通勤途上による

傷病に起因する病気休暇・病気休職により研究を行うことができなかった期間がある場合には、履歴書等にその旨明記していただければ、業績を評価する際に配慮します。

「日本光学会奨励賞選考規定」の訂正

平成 18 (2006) 年から平成 24 (2012) 年までの「光学」各巻第 7 号に掲載された「日本光学会奨励賞選考規定」の文章に誤りがありましたので、以下のように訂正いたします。

1. の 2 行目
誤：委員長，副委員長はそれぞれ「光学」編集委員長および「OPTICAL REVIEW」編集委員長のいずれかがあたる。
正：委員長，副委員長は原則としてそれぞれ「光学」編集委員長および「OPTICAL REVIEW」編集委員長のいずれかがあたる。
日本光学会ホームページに掲載の「日本光学会奨励賞選考規定」の文章は正確ですので、ご参照ください。

日本光学会 *news* の掲載申込先：

〒 112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1 日本女子大学理学部数物科学科 小川賀代

電話 / Fax 03-5981-3633 E-mail: ogawa@optnet.jwu.ac.jp

なお、掲載申込は原則として発行日 (10 日) から 2 か月前の 15 日まで、開催日が 1~10 日の場合は、開催日の 3 か月前の 15 日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 *news*」および「光学関連会合予定」の掲載基準 (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/kogaku/news-keisai.html>) をご確認ください。

OPTICAL REVIEW Vol. 20, No. 1, January/February, 2013 CONTENTS

Regular Papers

| | |
|--|---|
| Time-Between-Photons Method for Measuring Fluorescence Lifetimes | Yasuhiro MIZUTANI <i>et al.</i> |
| Removal of Residual Images in Parallel Phase-Shifting Digital Holography | Tatsuki TAHARA <i>et al.</i> |
| A New Multiple-Exposure Scheme for Full-Color Full-Parallax Holographic Stereogram | Fei YANG <i>et al.</i> |
| Visualized Numerical Assessment for Near Infrared Diffuse Optical Tomography with Contrast-and-Size Detail Analysis | Liang-Yu CHEN <i>et al.</i> |
| Characteristics of Double-Plasmonic-Racetrack Resonator to Increase Quality Factor | Hiroyuki OKAMOTO <i>et al.</i> |
| Estimating Ellipticity of a Fiber Core Using Two Types of Interferometry | Yuzhao MA |
| Effect of Laser Treatment on the Optical Properties of Poly(methyl methacrylate) Thin Films | Shima ZAHEDI <i>et al.</i> |
| Speckle-Based Modulation Transfer Function Measurements for Comparative Evaluation of CCD and CMOS Detector Arrays | Alicia FERNÁNDEZ-OLIVERAS <i>et al.</i> |
| Optical Measurement of Interference Color of Pearls and Its Relation to Subjective Quality | Toshihiro TOYOTA <i>et al.</i> |
| Surface Resistivity/Conductivity of Different Organic-Thin Films by a Combination of Optical Shearography and Electrochemical Impedance Spectroscopy | Khaled HABIB |
| Color Correction for High Dynamic Range Images Using a Chromatic Adaptation Method | Byoung-Ju YUN <i>et al.</i> |
| Color Constancy Demonstrated in a Photographic Picture by Means of a D-up Viewer | Chanprapha PHUANGSUWAN <i>et al.</i> |

Author Index

Instructions for Preparation of Manuscript

OPTICAL REVIEW Digital Archive
<http://jasosx.ils.uec.ac.jp/OR/index.html>